

# 碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
 神奈川 碩 心 会 発 行

14年 6月現在	会員数	14年 6月 (353号)
逗子地区	123名	発行者 千葉 岳 関
葉山地区	179名	編集者 白井 岳 麗
大船地区	23名	
(合計)	325名	

## 碩心会会長就任のご挨拶

加藤 岳 洵

去る常任理事会に於て推挙され、6月16日の総会により会長に就任いたしました。

三百数十名の会員を擁する伝統ある碩心会のリーダーとして、責任の重さをひしひしと感ずる次第です。このたびの役員改選にあたり、組織の活性化を図るため、3名の部長と1名の地区長が新任されました。

留任されました役員の方々と併せ、どうかフレッシュな立場で会の運営に励んで戴きたいと思っております。

顧みますと、碩心会の隆盛を極めた昭和60年代、会員は実に五百数十名を超えていました。今は吟界全体が減少傾向にあり、神奈川県本部でも傘下の55会併せて五千名を割る状況にあります。

会員の皆様には自分自身の吟道研鑽と共に吟道のすばらしさを味わっている立場から吟の輪をひろげて戴くようお願いしたいと思います。そして「吟道精神」を実践し、各教場にあってもさすが吟道を修めている人だと云われるように、邪穢を蕩滌した清い澄んだ心

で先輩を尊敬し、後輩を慈しむ精神を忘れず吟道に励んで戴きたいと思っております。

今までの会の運営に当られた方々には、どうか今後とも新役員の活動に当り、道に違ふことのなきよう側面から見守って戴き、ご指導とご叱正を賜りますようお願い申し上げます。



式典で挨拶する千葉会長

平成14年度 碩心会総会開催

日 時・6月16日(日) 13時より

会 場・逗子市社会教育会館講座室

松井正岳総務部長の司会により、総会成立の報告あり。 93%の出席率

千葉岳関会長は「65周年の大会には、会員の熱意で盛大な大会になったことを感謝する。任期満了により、会長を辞任するに当り、大会成功のお礼を申し上げる」と挨拶された。

総会の議長は規定により千葉会長が選出され、書記に佐久間岳爽、鈴木江岳を任命。

○各部長から13年度の経過報告

○13年度の決算報告、監査報告

○任期満了による役員改選(別紙名簿)

○許証部長より昇段審査料が従来の一千元を

一千五百円に改訂し、14年度秋期審査会よ

り適用の旨を発表(14年6月16日決定)

○会則の一部変更。逗子、葉山、大船の三支

部を二支部とする。逗子大船支部・葉山支

部とし、6月16日より施行

○決算報告書について

6月16日の総会に於て可決の平成13年度決算報告書は各支部で回覧願います。

行事予定

○碩心会夏季吟道講座

日 時・7月21日(日) 9時受付

会 場・逗子市図書館ホール

会 費・一、二〇〇円(テキスト、弁当共)

○高段者吟法講座

日 時・9月14日(土) 9時15分受付

会 場・横浜市栄区 栄公会堂

○第113回全国吟道大会(石川県)

日 時・9月29日(土)

会 場・金沢市観光会館 3泊4日

参加者(9名)

矢嶋岳悦 白井岳麗 上村岳章

矢嶋晃岳 大坪久岳 斎藤和岳

鈴木賢岳 池田清岳 森 律岳

○神奈川地区師範交流吟詠発表会

日 時・9月22日(日) 10時~17時

会 場・横浜市栄区 栄公会堂

参加資格・準師範、師範、正師範

上席師範 (割当 4名)

出吟料・三千円(プログラム、弁当共)

申込・後日総務部より指示します

碩心会 平成14年度夏季吟道講座の内容

7月21日(日) 9時受付 図書館ホール

第一講 村田岳瀨 春望、古池や、我と来て

第二講 松井正岳 本能寺、明治天皇御製

「天」 伊豆の海

第三講 矢嶋岳悦 獄中感有り、春の海

瘦蛙

第四講 加藤岳相 吉次峠の戦い、君が世を

東の野

第五講 加藤岳洵 雨にも負けず、小諸なる

古城のほとり(一~三)

..... S .....

碩心会新役員紹介 (平成14・15年度)

会 長 加藤岳洵

副会長 矢嶋岳悦

〃 松井正岳

総務部長(兼)松井正岳 副部长(村田岳瀨)

〃 鈴木江岳

会計部長 加藤芳岳 〃 西岡清岳

〃 根岸啓岳

許証部長 上村岳章 〃 矢嶋晃岳

〃 行谷隆風

企画部長	田中明岳	副部長	川瀬弘岳
教務部長	内山岳青	〃	中山俊岳
〃	〃	〃	加藤美岳
〃	〃	〃	小菅幸岳
〃	〃	〃	嶋津幸岳
広報部長	磯村岳朋	〃	南湖収風
〃	〃	〃	角田有山
〃	〃	〃	菊池祐岳
〃	〃	〃	広瀬晴岳
〃	〃	〃	植村成岳
〃	〃	〃	福本辰岳
〃	〃	〃	鈴木賢岳
〃	〃	〃	青木梅岳
〃	〃	〃	佐藤由岳
〃	〃	〃	大塚寛岳
会計監査	杉山岳雪	宇都宮徳岳	
顧問	加藤岳相	千葉岳関	
相談役	中村岳郵	中村岳愛	
参事	沼田岳雷	山口岳夕	
	村田岳滯	白井岳麗	
	鈴木岳浩	木村岳茅	

《杜村佳木》

### ◎碩心会創立65周年記念吟道大会

#### 力強さを見せた六十五周年記念大会

碩心会 会長 千葉 岳 関

先ず、当会役員、会員皆様方ご一同へおめでとうと申し上げ、又ご苦勞様でしたと心からねぎらいたい気持ちで一杯です。

皆様お互いに肌で実感されたと思えますが正に大きな成果をあげたと思えます。

大会の後、総本部、県本部その他の諸先生と会う機会があり、先生方から先日の大会は本当に素晴らしい「歴史と伝統の会は重みがあるね。感動した。吟はやはり迫力が最も大切だね。企画もよかった」「伴奏にもしゃかり合っていた。小楠公でお客様も皆感動して心から吟じたよ」などお賞めの言葉が次々と伝えられ、また或る先生からは文書で激賞して下さるなど、私も本当によかったなと当日を思い感激しております。

これこそ今後の練吟の原動力として皆様と共に肝に銘じていきたいものです。

この際熱のさめない中に若干反省してみた

いと思うことを次に述べておきます。

- ① こうした記念大会に際しては、一年位前から周到な計画樹立が必要、特に全体構想の柱を考えること。
  - ② 多少無理があっても基本計画策定後は吟舞の練習の時間を十分とること。
  - ③ リハーサルには一日かけて本番的稽古を實施して最終的追加消去の検討を行うこと。
  - ④ 伴奏を付けるからには一体感が持てるよう前以ての吟合せも必要。
  - ⑤ 何よりも全員のやる気と、元氣と、陽氣とこの三気の揃うことが大切。
- 舞台運営上で少々ミスらしきものがみられたが、あまり気にならない程吟舞が素晴らしかったと先生方はおっしゃっていました。
- 改めて申し上げますが、全員の「小楠公」合吟は他会で経験したことはなく、感動と感激だったと伝えてこられた先生もおられました。
- 最後に皆様のおかげで大会の前後にわたり役員が接遇に当たった、八聖殿拝観や最終日に行った三浦半島の観光は大変好評を頂き感謝御礼の言葉をいただいております。
- 会員の皆様に厚く御礼申し上げ欄筆します。有難うございました。



構成吟が始まりました。それは碩心会の全てが凝縮されたものでした。

故松井岳洋先生創始の韻誦をご子息の正岳先生が詠ぜられた「楠公父子訣別の一節」に続き、「小楠公」の大合吟となったのでした。その醍醐味は宇都宮徳岳先生作「松井岳洋先生を頌ふ」の「素読磨き尽して韻誦を創め、詠吟是を用いて幽玄を益す」に言い尽されてきました。

招待吟で少年少女の幼なくも凛々しい吟は大拍手を受け、最近よく云われる「声を出して読む」と云う呼びかけの一つの型と思えました。招待先生方のそれは、私共が高い目標を与えてくださいました。

流れるような進行と感動の中に閉会となりました。一年も前から企画し実行に移し、私共会員に会への誇りを持たせて終了となったことに役員の方々へ感謝いたします。

ともあれ「歴史と伝統を誇る大会」成功への千葉会長の宿願は見事に達せられました。

最後にこの大会が輝やかしい「歴史と伝統」となって将来に吟じ継がれ、その将来も又盛大であることを祈ります。

## 碩心会創立65周年記念吟道大会

幸和支部 鴨原隆山

5月19日、葉山町福祉文化会館大ホールにおいて標記大会が盛大に開催された。

千葉会長の御製謹詠に続いて、「雪月花を詠ず」をテーマとして各支部会員による合吟が行われた。

式典後の構成吟「碩心会の伝統」は、会の特色を活かし出色の出来映えであった。詩舞吟では吟と舞が見事に調和し、耳目を十分に楽しませてくれた。

「舟艇守の尺八」「楠公父子訣別の一節」の韻誦は当会ならではのものであり、舞台と会場が一体となった「小楠公」の大合吟で熱気は最高潮に達した。

願わくば壇上の創立者松井岳洋先生の遺影を拝見しながら、生前の先生の吟声が聞けたらと思ったのは私一人であろうか。

この大会を契機に、伝統ある碩心会の会員であることに誇りをもって、更に精進していくと心に誓った次第である。最後に一年前から準備を重ねてこられた役員並びに実行委員の皆様のご努力に深く感謝申し上げます。

## 大会前後三日間の記録

中村岳愛

大会前日の夜は、青森、寒河江、東大阪から御参加の先生方を、宿泊先の長者ヶ崎の相洋閣にお迎えし、会長他役員が遠方からの労をねぎらい、しばし懇親。明日の大会にそなえ、早々にお休みいただくよう心を配り帰宅。大会当日は好天気。次々に着る和服に気分もひきしまり会場へ。千葉会長の御製謹詠にはじまり、会員吟詠「雪月花を吟ず」が各支部毎の合吟で吟じられ、そのあと書華道吟で舞台に花を添えられた。当大会に全国各地から多数の先生方の参加をいただき、式典では平澤岳漱総本部長理事他多数の方の御祝辞をいただきました。アトラクションに葉山御前太鼓を披露していただき会場を盛り上げ、午後の部は大会のメイン、構成吟「碩心会の伝統」をナレーター入りで吟、舞により表現。つづいて招待先生の吟詠に感銘を受ける。しばし聞きほれ、最後に当会の指導者、役員の方の吟詠で無事終了。

翌日は遠方から御参加の先生方を城ヶ島へご案内。終って三崎口でお見送りし、65周年大会は全会員和合団結により盛会裡に終了。

## 大会の連絡係を担当して

杉山 岳 雪

五月晴れに恵まれた一日、第65周年記念大会が華やかに、そして厳粛なうちに終了したことをお慶び申し上げます。

また大会当日、連絡係として渡辺岳心先生を始め7名の方が、それぞれに責任を果たしミスも殆どなく時間通り進行がなされました。目の廻りそうな忙しい中で力を合わせ協力していただきましたことを連絡係責任者として心より厚く御礼を申し上げます。

会員受付の机上に並べておいた各支部への皆様の感謝状と許証を入れた袋の最後の一つを持ち帰っていた際には、ホッと一息。大会が無事終了したことを実感いたしました。長い時間をかけて大会に取り組まれた諸先生方、大変お疲れ様でございました。



## 創立65周年記念大会を無事終えて

村田 岳 藩

中村岳愛先生が体調をくずされたので代りに招待の先生方に案内状を作り、発送、返事の来るのを待って、プロ編成の企画にまわす。間違っただけは大変なので、何度もチェックする。式典に登壇していただく先生にも失礼のないように気をくばる。

合吟も練習不足が出ないかなと心配しましたが、さすが皆様頑張ってください、見栄え、聞きばえのある舞台だったと思いました。遠くから来られた先生方はお泊りになりましたので、翌日役員の方達とご一緒に城ヶ島を船で廻り、北原白秋先生の碑の前で写真を撮ったり、楽しく話合いながら見物し、お帰りの時間までなごやかに過し、再会を約してお別れしました。

その後招待の先生方から、今度の65周年記念大会はすばらしかったとほめていただき、喜んでいただいたと聞きホッとしています。健康でお手伝いできたことを感謝しております。70周年に向かって益々吟技をみがましよう。

## 皆様のご協力に感謝

葉山地区長 沼田 岳 義

傾心会の皆様方65周年記念大会が盛大にできましたことは会員の皆様とご同慶の至りであります。

私の役割といたしまして、先ず会場を取得することから始まり、文化会館ホールを契約するのには6ヶ月前の1日の9時に受付しなければなりません。特に日曜日は各団体の取り合いになります。そこで私達は昨年11月1日に午前3時半、福本辰岳、綱川岳邦、山田量風の各氏、その他松井正岳、矢嶋岳悦、白井岳麗各先生方のご協力によって、何としても取らなければならない予定の5月19日(日)を首尾よく取ることができました。

私は接待、弁当、懇親会を受け持ち、弁当は矢嶋岳悦先生に大船軒の弁当を依頼しました。また来賓の接待、懇親会にはお太幸の料理を用意しました。私達の役員は一番多い人数でしたがそれぞれに大活躍をしていただきました。

改めてここに感謝と御礼を申し上げます。



## 5周年記念大会を振り返って

上村 岳章

このたびの記念大会に於て、進行の大役を無事勤めさせていただき、ありがとうございます。ました。

特に式典の司会については、前回60周年の時は松井正岳先生が大任を果たされ、今回は私が勤めました。

次回の70周年には、碩心会の豊富な人材を考える時、次に譲ることの大切さに思いを寄せております。

未熟なこの私が曲がりなりにもこのような大役が出来たと云うことは、碩心会に育てられ、県本部の役員、総本部のお手伝いをさせていただいているお陰であります。

何事にも初めがあり、戸惑うことや見苦しいこともあったかと思いますが、常に初めてのもつもりで十分な準備をすることにより、自分自身を落ち着かせ、何とか勤めることが出来ました。

今後も杉浦重剛の「自訟」の精神を保ち、常に山上の山を目指して精進努力いたしますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## プロ企画担当として

企画部長 内山 岳青

65周年記念大会の準備委員としてプログラムの編成内容を企画する「プロ企画担当」を宇都宮徳岳先生と共に受け持ちました。

碩心会の歴史を刻む記念大会ですから式典あり、ご招待者の吟あり、更に構成吟・立体吟等も不可欠ですが、碩心会の会員吟詠について、プロ編成上の考えどころでした。

会員全員が参加し、日頃の練磨ぶりを発揮してもらうためにどうするか、松井副会長を交え何度も協議を重ねました。

最終的には統一テーマを「雪月花を詠ず」とし、「雪・月・花の部」それぞれにふさわしい絶句及び律詩を選び、また人員等を考慮して支部のグループ分けを行い、各グループが受け持つ吟は抽選で決めることにいたしました。それ以降についてはご承知の通りですが大会当日は練習の成果が十分に生かされ、どのグループの吟も素晴らしい出来映えで、碩心会会員の實力が存分に発揮されました。来賓の先生方にもご満足していただけたものと思えます。

## 年齢別吟詠大会に参加して

滝の坂支部 行 谷 隆 風

5月25日(土)第7回神奈川県本部「年齢別吟詠大会」があり初めて出場しました。上村先生や佐久間先生に薦められての出場ですが、力不足、経験不足、未熟さを改めて感じた次第です。

私としては滝の坂支部の仲間のご協力やご支援を得て、東京・蒲田に教場を開かせていただいたので、皆さんの期待に応えるようその気になってかなり練習をしたつもりですがやはりまだまだ遠く及ばなかったようです。今思えば反省することが沢山あります。

出場して感じたことをまとめてみます。

- ① 全般的な感想として
- ・ やはり段位が高くなるにつれて吟者の旨さや個性や渋味を感じました。山よりは風、風よりは岳にそれなりの良さがありました。
- ・ 吟風とか個性とかいうものはどうやって作り出していくのだろうか。これからの課題だと思いました。
- ・ 詩文を間違えたり、実力を出し切れなかった人もおりましたが、緊張を解くと云うこと

は大変難しい問題です。

②経験不足ということについて

・私の経験の浅さがそうなるのでしょうが、  
出番を待つ時ほど嫌なときはないです。こう  
いう大会は初めてなので余計堅くなりました。  
・出番前、口の渴き、体のだるさ、詩文の忘  
れ、体の震え、落ち着きのなさ、幾つになっ  
ても駄目です。先生方もそうなるのでしょ  
うか。やはり永年の経験、慣れ、日頃の勉強が  
自信となり、落着いて朗々と吟じられるので  
しょうか。

③勉強不足ということについて

・漢詩は特に素読を数多くして、詩文の持つ  
意味や語彙を調べ、作者の意図、社会状況等  
を理解しないと本当の漢詩の良さが分からな  
いのではないだろうか。そうした詩の持つ内  
容を思い浮かべて吟じないと本当の良さが出  
ないのではないだろうか。改めて、漢詩に取  
り組む十分な勉強が必要と思いました。吟じ  
る時は人に中身を語れる位になりたいもので  
す。

再入会して本当に良かったです。これから  
も一層のご指導をお願いいたします。

ありがとうございます。

俳句

滝の坂 佐久間 岳 爽

激つ瀬や水の香に沿ひみどりの夜

舟宿の泛子のいろいろ明易し

やすらへば蓮の浮葉にさざ波す

風 早 後 藤 道 岳

転任の子は越後へと柿若葉

城址まで歩いてみたり夏帽子

しばらくは衿をゆるめて宿浴衣

入会 (5月1日付)

390 志田晴彦 東京都大田区久が原2-21-15

(滝の坂) ☎〇三-三七五二-一七〇〇

紹介者 行谷隆風

入会 (6月1日付)

391 菊地平三 逗子市逗子7-13-3

(逗子A・枠) ☎〇四六八-七二-二二七〇

紹介者 菊地君子

392 遠藤孝浩 横浜市栄区桂台東5-30

(逗子A・枠) ☎〇四五-八九五-五八〇〇

紹介者 中山俊岳

住所変更

259 高館恒風 横浜市金沢区能見台東11-5-506

☎〇四五-七八六-九二一四

退会 (5月1日付)

33 石渡岳桂 (堀内D) 死去

62 井上葉岳 (堀内D) 287 植村泰山

退会 (6月1日付)

312 中司祥泉 (逗子A)

編集後記

広報部長という大変なお役を受けてから二  
期、四年間はアツという間もなく過ぎ去った  
気がいたします。会員の多くの方に投稿いた  
だき、さまざまの出会いがありました。

広報を通して沢山の心の宝を得ることがで  
きましたことを幸福と思います。

皆様から温かいご協力を賜り、副部長に支  
えられて大任を果たしましたことを心よりお  
礼申し上げます。 白井岳麗

広報が皆様のお手許に届いたとき、どのよ  
うな感想だったでしょうか。

多くの方に原稿のご依頼をして吟詠にすぐ  
役立つ文、人生が豊かになる内容、或いは心  
も弾む旅行記等、いつも快くお引き受けくだ  
さり嬉しいことでした。 通算して14年間

広報の編集という好きな仕事に打ち込んで楽  
しくさせて頂いたいただき、誠にありがとうございました。  
佐久間岳爽